長者伝説

中仙町豊川

草彅氏は寛文の頃から土民となって　家の繁栄の頃は　一〇万刈の稲田をつくり　田植えるときは　五〇頭の馬に一〇〇人の農夫を入れて　田掻の作業をさせた長者であったと伝えられている　代々米沢新田村の肝煎をつとめている